

## 【自己評価結果】9カテゴリー、125項目

<3段階評価> 3：良く当てはまる 2：大体当てはまる 1：当てはまらない

| カテゴリー |            | 令和2年度平均値 |
|-------|------------|----------|
| I     | 教育理念・目的    | 2.63     |
| II    | 教育目標       | 3.00     |
| III   | 教育課程経営     | 2.45     |
| IV    | 教授・学習・評価過程 | 2.88     |
| V     | 経営・管理過程    | 2.16     |
| VI    | 入学         | 2.50     |
| VII   | 卒業・就業・進学   | 2.25     |
| VIII  | 地域社会／国際交流  | 1.40     |
| IX    | 研究         | 2.00     |

## 【学生による授業評価、臨地実習評価】

<4段階評価>とてもそう思う4、そう思う3、そう思わない2、全くそう思わない1

講義について（1・2年生の講義において専任教員が評価を得ることができた教科目の平均値）

| 評価項目                       | 評価の平均値 |
|----------------------------|--------|
| 自己の取り組み（努力した・協力して取り組んだ）    | 3.4    |
| 講義の内容（内容が明確・分かり易い・工夫があるなど） | 3.8    |
| 講義の進め方（時間配分・話し方など）         | 3.8    |
| 講義全体（興味を持てた・学習目標が達成できた）    | 3.7    |

臨地実習について（2年生の領域実習すべての平均）

| 評価項目                             | 評価の平均値 |
|----------------------------------|--------|
| 自己の取り組み（努力した・協力して取り組んだ）          | 3.6    |
| 実習方法（必要な体験ができた・オリエンテーション など）     | 3.6    |
| 教員のかかわり（適切な指導を受けた・指導方法は適切だった など） | 3.8    |
| 実習環境（教員と指導者の連携・学習環境 など）          | 3.6    |
| 実習全体（充実した実習だった）                  | 3.7    |

## 【学校関係者評価委員会からの意見】

令和2年度の当校の自己評価結果をもとに、学校関係者評価委員会を開催し、以下の意見を得ました。

- (1) 学生数の減少により、お互いに学びあいグループで学習するという体験が減っている。学生確保のために、受験を妨げる理由を考慮した積極的な広報活動が必要。
- (2) 講義・実習アンケート結果はおおむね高評価でよいが、学生の納得する、タイミングをとらえた指導に留意すること。
- (3) 学生個々の個性に応じた職場の選択、社会人としての力についても丁寧な指導を継続する。